

令和元年度第3回埼玉県東部地域保健医療・地域医療構想協議会 議事概要

1 日時及び会場

令和2年2月17日(月) 午後7時30分から午後8時40分
越谷市保健所 2階大会議室

2 出席者

・協議会委員(別紙名簿のとおり)

委員総数28人 出席27人

・オブザーバー

管内市職員

・事務局

保健医療政策課、医療整備課、春日部保健所、草加保健所、
越谷市、越谷市保健所職員

・説明者

第6次・7次地域保健医療計画に基づく病院整備状況：10医療機関

・傍聴者

9人

3 議事

(1) 公的・公立医療機関等の具体的対応方針の再検証について

資料1-1、1-2に基づく保健医療政策課からの説明と意見交換が行われた。

【主な意見等】

・公立・公的医療機関を含めてデータの公表は大事だと思う。国が公立・公的の424病院を公表した時に、公表の仕方もあったと思うが、風評騒ぎもあり患者さんに不安を与えた。あその後440病院に訂正されている。そのような非常に繊細な事項なので、データを確認してということだが、不安をあおらないように公表の仕方は慎重にした方がよいと思う。

(2) 民間医療機関も含めた医療提供体制の議論について

資料2-1～2-6及び参考資料に基づく保健医療政策課からの説明と意見交換が行われた。

【主な意見等】

・病床機能報告は一定期間の結果であるということはあまり知られていなかったりするので、そういうデータの根拠となるものもしっかり説明した方がよい。資料2-5では平均在棟日数が一般病床と療養病床に分けられているが、一般病床の内訳などはもう少し精緻化できるのではないか。

(3) 病院アンケートについて

資料3-1、3-2に基づく保健医療政策課からの説明と意見交換が行われた。

【主な意見等】

・特になし。

(4) 医療・介護連携に関する意見交換会について

資料4に基づく草加保健所からの説明と意見交換が行われた。

【主な意見等】

- ・医療と介護の連携、新たに病床を整備する病院に対して地域で足りない機能を補ってもらうという観点からは、地域包括ケア病棟なのでポストアキュート・サブアキュートを受けてもらうという点で非常に良いものだと思う。
- ・今後、新たに病床を整備する病院だけでなく、既存の回復期・慢性期病院も交えて議論をする、というように医療介護連携の枠を広げていくとさらに良いものになると思う。
- ・3次救急に軽症者が行ったり、2次救急が1次も2次も担っていたりするので、救急の機能分担・連携という点でも意味があると思う。
- ・現状、医療側から介護が見えていないし、介護側も医療が見えていないので、顔の見える関係を作ることは良いと思う。
- ・介護の方は特養、老健、有料老人ホーム、サ高住にも慢性期の患者さんが入っているという現状があるので、そういったところも交えて地域ごとに顔の見える関係が作れると良い。

(5) 今後の整備予定病床について

資料5に基づく医療整備課からの説明と意見交換が行われた。

【主な意見等】

・特になし。

○整備予定病床の開設準備状況説明と意見交換

①南部厚生病院

緩和ケア病棟新棟の開棟は令和元年7月に20床で運用を開始した。認可病床30床のうち残り10床については、医師・看護師・薬剤師の確保が難しい状況が続いている。該当職種採用に向けて取り組み、緩和ケア病床30床の早期全開棟を目指したいと考えている。当院は長年にわたり春日部市において慢性期に特化した終末期医療を提供してきた。今回ターミナルを中心とした緩和ケア病棟を開設したが、新しい特殊病棟のために地域医療機関の皆さまにご指導をいただきながら、地域医療構想において当院に求められる役割に少しでも応えられるように今後も努めていきたい。

②武里病院

認知症の合併症を診るための内科の病床ということで、在宅療養後方支援にもなるということで、許可をいただいた。今まで精神科だけだったということで、関東信越厚生局に届出を出したところ、200床以上だと「データ提出管理加算」の届出が必要だということが先日判明して、これの届出を今やっている。これが4か月くらいかかるということで、当初は4月1日オープンを予定していたが、6月1日にずれ込む予定である。ただ、人員を含めて他の準備は整っているので、今年の1月に春日部保健所に開設許可の届出は出した。順調にいけば5月に保健所の使用許可と在宅療養後方支援病院の届出が完了し、6月に64床オープンできる予定である。それに向けて今頑張っている。

③リハビリテーション天草病院

開設許可された4床については、予定通り平成31年3月7日より稼働している。よって計画は完了済みである。稼働以降、全病床の平均稼働率は98.6%、直近の1月については99%と、ほぼ満床状態で順調に推移している。引き続き、地域医療連携体制の中、回復期病院として急性期病院の退院計画にスムーズに応えられるよう努めていく。増床以降、受入れまでの待ち日数は平均で2~3日と確実に短くなっていると考えている。引き続き、在院日数の短縮に努めていく。

④永井マザーズホスピタル

許可いただいた5床については、クリニック当時使用していた部屋で増築病院化に伴い廃止していた部屋を病室として再整備した。改装工事等は必要なかった。草加保健所での開設変更許可を平成31年4月18日、使用許可を令和元年6月1日にいただき、厚生局の指定変更を令和元年7月4日にいただいて増床済みとなった。現在は切迫患者や妊娠糖尿病患者など入院管理を必要とするハイリスク患者を受け入れられるようになって、患者の遠隔地への搬送も少なくなった。さらに身近な場所での出産に臨んでいただけになったと考えている。これからも県の掲げる周産期医療体制の充実に微力ながら努力していきたいと考えている。

⑤しらみず産婦人科クリニック

令和2年5月に開設予定だったが、新任のドクターから辞退の申し出があって、大幅に計画が狂った。パラメディカルのスタッフは9割方集めていたが、いつまでも待ってもらうわけにもいかず、新たに人材派遣会社等を通して医師確保に向けて頑張っているところである。年内には何とか見通しをつけたいと思っている。

⑥三愛会総合病院

令和3年2月の着工に向けて設計業者の基本設計は令和2年6月には終了、その後実地成形に移行し、令和2年11月には実地成形も完了する予定である。その後は約18~20か月の建築期間を経て、令和4年秋頃には竣工・開設とする計画を考えている。医療従事者の確保については、医師は本年3月・4月で整形外科2名、膠原病内科1名、泌尿器科1名、計4名の入職がある。直近2~3年は常勤の整形外科医が不在だったので、改めて今後地域医療に貢献できるのではないかと考えている。その他各コメディカルについてもまだ時間はあるがイムスグループのネットワークをいかして採用活動は順調に行っている。

その他として、今回の整備計画において当院は6号基準に貢献させていただく予定だが、昨年12月17日に東部メディカルコントロール協議会において今後について再度確認を行った。計画の整備が遅延している事項はないので、引き続き進めていく。

⑦慶和病院

現状、土地の選定の段階である。先日より計画地として提出していた三宮の土地について、農業振興地域であったので、越谷市の開発指導課の方から建築が認められる様々なケースを指導いただき色々検討・調査をしてきたが、農振除外の事前相談の際に、農業委員会の方から「農業振興地の農地を宅地に転用してしまうと越谷市全体の食糧自給率にも関わる」などとあまり例外を認めることは望ましくないという指摘をいただいたので、今回の土地は断念せざるを得ないという結論に至った。これが昨年の11月のことである。

またその後、恩間新田の方で1点土地の照会があって、現在その土地について交渉してい

るが、その中で当初聞いていた条件とだいぶ違う条件が売り主から提示された。そちらの建築は事実上不可能だろうと判断している。

慶和病院としては当所の予定通り40床の増床を絶対に達成したいという強い熱意に変わりはないので、認知症病床を40床返還した2号棟があるが、それを改修し土地が見つかるまでの間、地域包括ケア病床を稼働していきたいと考えている。2号棟も改修が必要になってくるので、かかる費用も含めそちらの検討をしているところである。いずれにしても、土地が見つからなかった場合でも慶和病院としては必ず2病棟で地域包括ケア病床を稼働しつつ、引き続き土地の選定を続けていき、いずれ良い物件にめぐりあえた時点で新築・移転を行うという考えに変わりはない。そのような形での計画に引き続き支援・協力をお願いしたい。

⑧（仮称）埼玉越谷病院

現在、埼玉クリニックと越谷泌尿器科内科の病床およびリハビリ室の改築図面の作成を行っている。当院の役割としてはポストアキュートの積極的な受入れとサブアキュートの受入れということで、リハビリ室および外来の椅子を増やすということと、リハビリのPT・OTの採用に力を入れている。改築図面の作成に若干遅れが生じているが、越谷市都市整備部に増床の許可申請提出後、申請が通るのに約半年かかるということがあったので、何とか今月中には改築図面を作成して提出する予定である。

⑨みさと健和病院

今回、地域包括ケア病床20床の開設を認めていただいた。既に35床の地域包括ケア病床があるが、かなり使い勝手が良い。もちろん自院のポストアキュートの部分が大いだが、在宅で見ている患者、地域の開業医の方との連携からすると、必ず増床が必要ということで議論している。今図面を引いているところで、旧病院を新たな病床として使おうと考えているが、いくつか構造上の問題が出てきて、図面上いくつか見直しをしなければいけない箇所があったり、今度の診療報酬の改定で病棟の再編も同時に検討しているところもあったりして、少し時間をいただかなければならないかもしれない。来年11月開設の予定だが、少し遅れる可能性がある。引き続き進めていく。

⑩鳳永病院

隣接する土地を昨年10月29日に取得した。それに伴い、現在建築会社数社とプラン等について協議している。今年の春に基本設計を開始し、令和3年3月着工に向けて現在進捗している。

【主な意見等】

・東部地域の一番上に順天堂越谷病院が載っているが、6次の整備計画ではるか昔の話だが、未だ調整中ということならこの会議で話し合っても全然意味がないということになってしまうと思うが、いかがか。

→前回欠席だったのかもしれないが、前回の会議で担当者から土地に墓地があって現在調整中だということを説明してもらったので、今回は出席していない。またしかるべき時期に進捗を報告してもらい、この場で協議していただく。(医療整備課)

・浦和美園の順天堂についてだが、東部圏域外だが、隣接する圏域として少し議論をした方がいいかなと感じる。

・ 6次・7次の整備病床の進捗状況の話があったが、審査の段階で土地や建築や資金などプレゼンテーションして協議会で了承を得ているはずである。しっかり計画に沿って進めてほしい。手を引いた病院もあるのだから、計画通りに行かないなら取り下げてもらってもいいのではないかと。そういったところも考えてほしい。

(6) 第7次埼玉県地域保健医療計画の一部変更について

資料6-1、6-2に基づく保健医療政策課からの説明と意見交換が行われた。

【主な意見等】

・ 特になし。

(7) 地域医療構想アドバイザーについて

資料7に基づく保健医療政策課からの説明と意見交換が行われた。

【主な意見等】

・ 先日湯澤先生と齊藤先生に会ってどういうことか聞いたところ、今説明があったようなことで、何かあったらいつでも飛んでいくからと言っていた。そういうことなのでよろしくお願ひしたい。

(8) その他

資料8として、春日部保健所、草加保健所及び越谷市保健所の新型インフルエンザ等対策の取組状況について資料配布した旨、春日部保健所から案内を行った。